

災害関連死をいかに防ぐか ～公助の限界をどう乗り越える?!～

今年は何東大震災から100年目です。また、毎年のように各地で自然災害が頻発しています。避難生活の中で体調を崩して亡くなる災害関連死は、最大限防がなければなりません。私たちの活動次第では、災害関連死を防ぐことも可能です。

そこで、今回は、「医療」と「食・栄養」の視点から、被災者の健康や災害関連死の問題を考えたいと思います。

被災者支援に関心のある方だけではなく、医療や食に関心のある方はぜひご参加ください。

日時 **令和5年9月2日(土)** 午後1時30分～午後5時

場所 千葉市中央区中央4丁目13番9号

千葉県弁護士会本部会館3階講堂 (リモート併用)

JR千葉駅から徒歩約15分 京成千葉中央駅から徒歩約7分

対象 関心のある方であればどなたでも

「いざという時どうする? ～あなたの食と栄養～」

講師 **齋藤 由里子さん**



公益財団法人 味の素ファン
デーション 事務局長
神奈川県生まれ。1994年味の
素㈱入社。2018年より財団へ
出向。東日本大震災 復興応援
事業の他、災害時の食と栄養の
問題解決をめざす多組織・多職
種プラットフォーム「食べる支
援プロジェクト(たべびろ)」を
立上げ、世話役を勤める。

災害時の「食と栄養」 栄養士の観点から

～「いつも」と「もしも」の栄養～

講師 **鯨岡春生さん**



千葉県栄養士会 副会長・非常
災害対策委員長
災害発生時、栄養士・管理栄養
士が医療・福祉・行政栄養部門
等と協力して支援活動を行える
よう専門的知識と技術を取得し
たスタッフの育成を図る活動を行
う。

講師 **石井 美恵子さん** 「避難生活者の生命、健康、尊厳を守る」



医学博士・災害医療スペシャリスト、国際医療福祉大学大学院教授
(災害医療分野)

新潟県生まれ。1995年米国で危機管理システムや災害医療を学び、
教育や医療支援活動に従事。イラン大地震、中国四川大地震、ネ
パール中部地震、東日本大震災など国内外での医療支援に携わる。
日経 WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2012大賞」受賞。

参加方法：下記URLまたはQRコードから

申込先 → <https://form.run/@230902-saigaikensyuu>

(8/25(金)締め切り) 会場参加もZOOM参加も事前申し込みを

